

温室効果ガス排出量検証報告書

株式会社リコー 御中



BUREAU
VERITAS

2013年6月28日



ビューローベリタスジャパン株式会社
システム認証事業本部

ビューローベリタスジャパン(以下、ビューローベリタス)は、「リコーグループ サステナビリティレポート 2013」および「リコー環境ホームページ」において株式会社リコー(以下、リコー)により報告される2012年4月1日から2013年3月31日の期間の温室効果ガス排出量に対して限定的保証業務を行った。

1. 検証範囲

リコーはビューローベリタスに対し、以下の温室効果ガス排出量情報の正確性について検証し限定的保証を行うことを依頼した。

- 1) スコープ1及びスコープ2 温室効果ガス排出量
 - ・リコー及び連結子会社40社の事業活動に伴う温室効果ガス排出量
- 2) スコープ3 温室効果ガス排出量
 - ・リコーが販売した画像&ソリューション分野のリコーブランド製品本体の製造のための原材料及び部品調達に伴う温室効果ガス排出量
 - ・リコーが販売した画像&ソリューション分野のリコーブランド製品本体の生涯使用電力消費に伴う温室効果ガス排出量

2. 検証方法

ビューローベリタスは、ISO 14064-3(2006): Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the validation and verification of greenhouse gas assertions の要求事項に従って検証を行った。

ビューローベリタスは、限定的保証の一環として以下の活動を行った。

- ・温室効果ガス排出量を特定し算定する責任のあるリコーの関係者へのインタビュー
- ・リコーの温室効果ガス排出量を決定するために用いられた情報に対する、情報システムと収集・集計・分析方法の確認
- ・温室効果ガス排出量の正確性を確認するための元データのサンプル監査

3. 結論

実施した検証活動及びプロセスによれば、温室効果ガス主張が以下であることを示す証拠は認められなかった。

- ・著しく正確性を欠き、温室効果ガス排出量データを適切に表していない
- ・リコーが定めた温室効果ガス排出量算定方法に従って作成されていない

検証された温室効果ガス排出量		
スコープ1 129,500 t-CO ₂ e	スコープ2 231,000 t-CO ₂ e	スコープ3 758,000 t-CO ₂ e

スコープ3 排出量の内訳は以下の通り。

- ・原材料及び部品調達に伴う排出: 318,000 t-CO₂e
- ・製品本体の生涯使用電力消費に伴う排出: 440,000 t-CO₂e

【独立性、公平性及び力量の声明】

ビューローベリタスは、独立保証業務の提供に180年の歴史を持つ、品質・健康・安全・社会・環境管理に特化した独立の専門サービス会社です。検証チームメンバーは、当該任務の要求の範囲外において、リコーとのビジネス上の関係は有していません。ビューローベリタスは、日常業務活動におけるスタッフの高い倫理基準を維持するため、倫理規定を導入しています。検証チームは、環境・社会・倫理・健康・安全の情報・システム・プロセスに対する保証について広範囲な経験を有すると共に、ビューローベリタスの温室効果ガス排出量データ検証方法に対する優れた理解を有しています。